



やまがた被害者支援センター だより

YAMAGATA Victim Support Center

令和2年8月発行

第29号

～多くの方々に支えられた

県警察の犯罪被害者支援活動～

山形県警察本部 警務部理事官兼警務課長 阿部 喜彦



「やまがた被害者支援センター」が設立され、今年で17年目を迎えます。

これまで組織運営に携わってこられた関係者皆様のご尽力に深く敬意を表します。

この度は、貴重な紙面をお借りすることができましたので、県警察の犯罪被害者支援活動の黎明期を知る者の一人として、当時の様子を振り返りつつ、お世話になりました方々に、改めて感謝の気持ちをお伝えします。

我が国では、昭和41年に横浜市内で発生した通り魔殺人事件、昭和49年に都内で発生した三菱重工ビル爆破事件を契機として、犯罪被害者に対する経済的救済の気運が高まり、昭和55年に「犯罪被害給付制度」が創設されました。

その後、平成3年に開催された「犯罪被害給付制度発足10周年記念シンポジウム」で精神的な支援の必要性が指摘され、民間の「犯罪被害者相談室」や「犯罪被害者支援団体」の設立、ネットワーク化へと進み、県警察においても、平成10年から、被害の早期回復や軽減、警察活動に伴う負担軽減等の取組みを本格的にスタートしました。

しかしながら、目前には、「職員の意識改革」という壁が立ちました。人の意識を変えるというのは、実に難しいもので、「犯人(犯罪)を検挙してなんぼ」の世界で生きていた警察官に対して、「犯罪被害者支援活動は、警察本来の業務である」との意識を浸透させるには、一筋縄では行かず、「孤軍奮闘」、「四面楚歌」の日々が続きました。

そのような中、手を差し伸べてくれたのは、犯罪被害者遺族の自助グループで活動されていた渡邊理香さん、宍戸義明さん・京子さんご夫妻、そして犯罪被害者支援活動に取り組まれていた臨床心理士会の末廣晃二会長、精神科医の五十嵐善雄先生(故人)や市川信子先生など多くの方々でした。

渡邊さんや宍戸さんご夫妻からは、一緒に県内全ての警察署や警察学校を回っていただき、若手からベテランに至るまで職員一人ひとりに「犯罪被害者遺族の声」を伝え、「社会全体で取り組む犯罪被害者支援の必要性」を訴えていただきました。時には、「県警察のために」と、厳しいご意見も頂戴し、その叱咤激励は、小職の「警察人生における貴重な財産」の一つとなりました。また、有識者の方々には、日々多忙な中、先進県の民間被害者支援団体を視察していただき、「やまがた被害者支援センター」設立に至る道標を立てていただきました。この様に、「県警察の犯罪被害者支援活動」の黎明期は、多くの方々から支えられ、今改めて振り返ると、唯々感謝するばかりです。

今年から、警察本部警務課長として、犯罪被害者支援活動に携わりますが、皆様方から頂戴したご恩を忘れることなく、より多くの県民に犯罪被害者支援の輪が広がるよう誠心誠意努めて参りますので、引き続き、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、「やまがた被害者支援センター」の益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念いたします。

電話相談

〈やまがた被害者支援センター〉

相談電話番号

なやみゼロ

023-642-7830

月曜日から金曜日(10:00～16:00)

庄内出張相談所

相談電話番号

ゼロなやみ

0234-43-0783

毎週水曜日(10:00～16:00)

やまがた性暴力被害者サポートセンター

相談電話番号

「べにサポ やまがた」

023-665-0500

月曜日から金曜日(10:00～21:00)

■ボランティアの相談員がお受けします。■相談は無料です。■秘密は厳守します。 ※12/29～1/3までと祝日はお休みです

令和2年度 定時総会の開催

令和2年度の当支援センターの「定時総会」は、5月29日(金)山形市内のホテルを会場に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大という情勢を踏まえ、「書面審議」で行うこととなりました。

議決権のある社員総数100名中、出席(書面出席)社員数87名でしたので、本総会は適法に成立し、下記議案について書面による審議が行なわれました。

- 第1号議案 令和元年度事業報告について
- 第2号議案 令和元年度収支計算について
- 第3号議案 令和2年度収支予算の第1次補正(案)について

以上3議案については、社員数87名がこれに賛同し、承認されました。

第4号議案の役員選任(役員の補充)についての提案に関しては、

理事 大御 均氏 理事 松田一彦氏

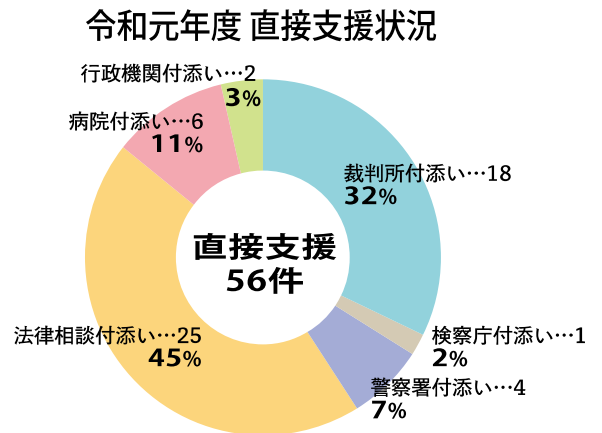
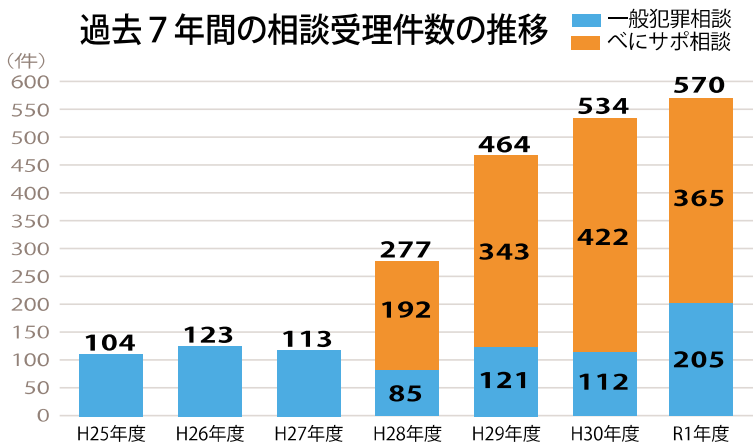
の辞任届が提出されたので、その後任に下記2名を指名して可否を諮ったところ、社員87名が賛同し承認可決され、2名とも就任を承諾されました。

山形県公認心理師・臨床心理士協会会長 伊藤洋子氏 山形県商工会連合会専務理事 太田宏明氏

また第5号議案の定款の一部改正については、「成年後見制度の利用の促進に関する法律(平成28年法律第29号)」に基づく措置として、成年被後見人等の人権尊重、不当な差別防止のための関係法規が施行されました。これに伴い当センターの定款の一部を改正するものであり、改正理由及び改正内容について、社員数87名全員が賛同し承認可決されました。

本定時総会で報告された令和元年度の事業報告中の相談受理状況や決算報告の内容は以下のとおりです。

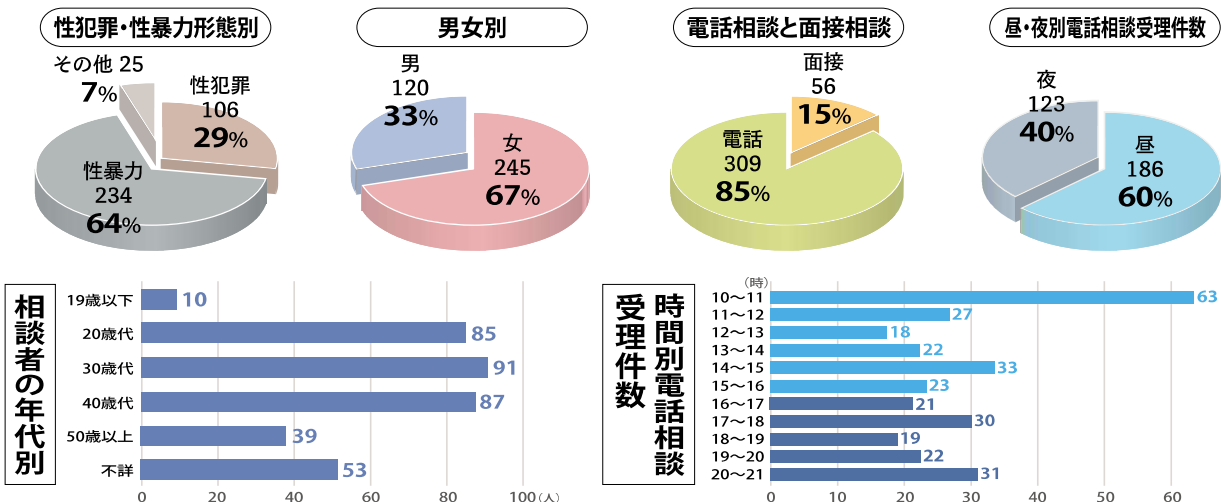
令和元年度 (平成31年4月1日～令和2年3月31日) 相談受理・直接支援状況



- ◆令和元年度は一般犯罪相談が増加し、センター全体で受理した相談件数は平成28年の「べにサボやまがた」開設以降、年々増加しています。
- ◆裁判所付添い、法律相談付添いが直接支援全体の約8割を占めています。

令和元年度 やまがた性暴力被害者サポートセンターの相談受理状況

※平成31年4月1日～令和2年3月31日に受理した「365件」の相談内容



令和元年度決算報告

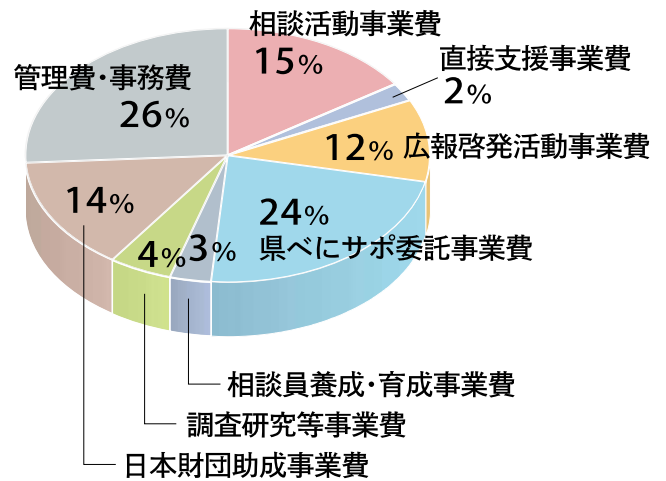
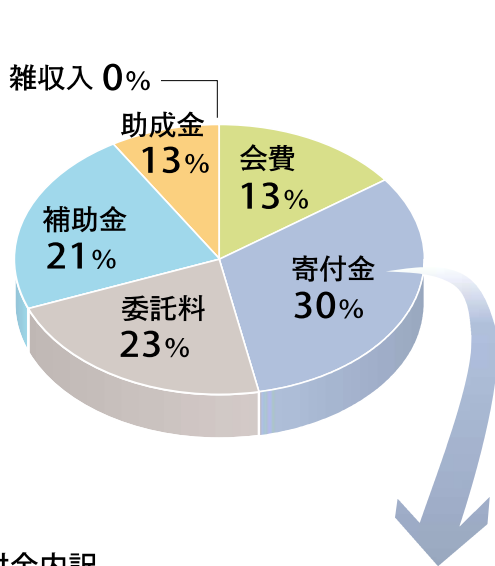
【 令和元年度活動決算 】

収入の部

科 目	決算額(円)	摘 要
会 費	2,895,000	正会員、賛助会員会費
寄 付 金	6,922,623	各種寄付、協力自販機等
委 託 料	5,188,800	県別にサポ委託料
補 助 金	4,702,099	県補助金、市町村負担金等
助 成 金	2,912,000	日本財団(預保納付金)助成
雑 収 入	22	受取利息等
合 計	22,620,544	

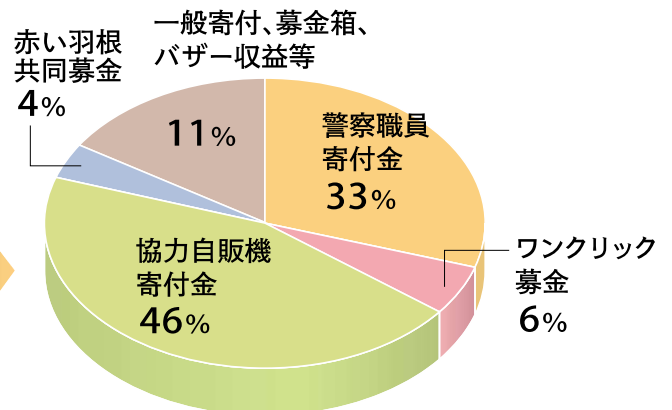
支出の部

科 目	決算額(円)
相談活動事業費	3,296,277
直接支援事業費	461,921
広報啓発活動事業費	2,629,593
県別にサポ委託事業費	5,255,601
相談員養成・育成事業費	605,488
調査研究等事業費	1,005,629
日本財団助成事業費	3,152,474
管理費・事務費	5,850,051
支 出 合 計	22,257,034



寄付金内訳

科 目	決算額(円)
警察職員寄付金	2,275,417
ワンクリック募金	393,000
協力自販機寄付金	3,192,482
赤い羽根共同募金	300,000
一般寄付、募金箱、バザー収益等	761,724
合 計	6,922,623



それでも明日を生きる

安部 有紀

私が鍵をかけ忘れたから
夜中までバイトをしていたから
暑い夏、疲れて下着のまま寝ていたから
だから私はレイプされたの？
イヤホンをして、髪を伸ばして
遠くからでも女だってわかる格好をしていたから
突然後ろから襲われて、嫌なことさせられたの？

口を押さえられ窒息すると思った
殺されるんだと思った
必死の抵抗も、男の人の力にはかなわなかった
だまれ、動くな、と言われた
殺す、とも言われた
私が力つきると好き放題いたぶって去って行った
殺されると思ったけど、苦しくてもがく中で
どうにか助かりたいと思った
でも、恐怖と心の傷がこんなにもつきまとうなら
いっそ殺してくれればよかったのに

犯人が捕まっても私の失われた時間は戻らない
警察、検察でその時のこと、何度も何度も聞かれて
また思い出して、気持ち悪くなって、苦しくて
なんで犯人を罰するために、
私がこんな苦しい想いをしなければならないんだろう

二度目の被害の犯人はいまも捕まっていない
普通になにもなかったかのように暮らしていて
また違う誰かを襲ってやろうとも思っているのだろうか

家も外も完全に安全とは思えず
どうしようもなく苦しい日がたくさん

大好きだったスカート、はけなくなった
長くふわふわにしたい髪、伸ばすのが怖くなった

夜道を歩くと胸が圧迫されるような息苦しい感じがあって
後ろも気になって、外を歩くのが怖くなった
男性がたくさんいるところでムカムカするようになった
イヤホンがはめられなくなった
どこにいても物音に敏感になった
似たようなニュースをみるとどうしようもなく苦しくなった
PTSDで働けなくなった
海外留学もするはずだったのに

昔の私はいなくなってしまって、今の私を愛してあげようと
必死に生きている
だけど時々昔の自分に会いたくなる

それでも、それでも、卑屈にはならず
光を見つけて、いつか
助かってよかった、生きていてよかったって思えるように
頑張って明日も生きよう

だってだって、私はきっと悪くない
なにも悪い事していない
それだけは苦しくても胸を張ってしよう

出典 犯罪被害者等の手記第4集(平成30年11月、
秋田被害者支援センター等監修)から抜粋

～ 犯罪被害相談員から ～

この手記を書かれた安部有紀さんは、あろうことか2度にわたって性被害に遭われた方です。忍びがたい苦悩の連続の中で、一条の光を求めて一步前に進もうとする安部さんに学ぼうと、本年の当センター一定時総会にお招きして講演をいただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため断念せざるを得ませんでした。この手記には、被害に遭われた本人にしかわからない恐怖、混乱、苦しみ等が描かれていますが、これらはほんの一部分にしか過ぎません。

当センターでは被害に遭われた方への寄り添いを第一に支援しております。被害に遭われた方が声をあげるのとはとても勇気のいることです。新たな一步を踏み出すまでには相当な時間も気力も必要とします。

少しでも多くの被害者の方がひとりで悩まずに相談でき、適切な支援を受けられるよう、今後とも被害に遭われた方の心に寄り添いながら尽力したいと思います。

交通事故遺族の会「こまくさの集い」の紹介

代表 渡邊 理香

平成8年、娘が交通事故に遭った当時、被害者に手を差し伸べてくれる人も場所もなく、インターネットも今のように盛んではなかった為、被害者が情報を得ることも、他の被害者に繋がることも厳しい時代でした。「被害に遭った人は、どうやって生きているのだろうか?」これは娘を失った苦しみの中、湧き上がってきた疑問でした。

平成11年4月、「気軽に集まり話ができる場所があれば、」と願い、同じ想いで繋がることのできた被害者の方々と立ち上げたのが、自助グループ「こまくさの集い」です。

以前は裁判を抱えている方の傍聴や、検察等への付き添いなどを行っていましたが、現在は事故から年数が経過している会員のみとなっているため、2か月に一度の割合で集まり、生活の悩みを打ち明けあったり、日常生活の中で感じたことなど、何気ない会話を楽しんでいます。また時には、温泉やトレッキング、日帰りの旅行に行ったり、食事会などを開いたりして交流を深めています。希望者で東京に出向き「あすの会」の解散式や、他県の被害者支援のフォーラムに参加したこともあります。

開催場所は、やまがた被害者支援センターの会議室で話し合いをしていた時期もあったのですが、土曜日の開催を希望することもあり、現在は別の会議室を借りて行っています。時間は概ね奇数月の土曜日の午後1時から3時間程度、参加人数は3人から10人とまちまちですが、人数の把握が必要な時以外は特に出欠などは取らず、参加したいときに参加する形式をとっています。

活動としては以前、山形県の運転免許センターから依頼を受け、違反者の免許更新時の講演を会員が交代で行ったこともありますし、被害者支援センターの新規相談員に対しての講話は、会員のほとんどが話をした経験を持っています。また、県警からの依頼を受け、学校等で行われる「命の授業」で、自らの体験を伝える活動を行っている方もいます。

被害者支援センターから、会の開催に伴う会場費、通信費、印刷に係る費用、お茶菓子代等の経費の支援や、センターのホームページに会についての掲載など、物心両面でのサポートを頂いています。その他、支援センター、県警、被害者遺族が協力し合い、パネルの作成を行い、被害者の心情への理解を社会に深める活動にも繋がっています。

大切な命、次代につないで
山辺・作谷沢小中 遺族の渡辺さん講演



命の大切さを学ぶ教室が27日、山辺町の作谷沢小中（鈴木義彦校長、22人）で開かれ、交通事故遺族の会「こまくさの集い」代表の渡辺理香さん（山形市）が講演した。

渡辺さんは1996年7月18日、当時小学1年生だった長女祥子さんを交通

事故で亡くした。突然娘を失った現実を受け止められなかったつらい心境を振り返った。家族や周囲のサポートに救われたことから「苦しいとき、周りの人に助けを求める勇気を持つてほしい」と呼び掛け、「次の世代に命のバトンをつないでほしい」と、かけがえない命の尊さを訴えた。

同校と山形警察署（四釜明署長）が主催。生徒たちは真剣なまなざしで耳を傾け、保護者らは時折ハンカチで顔を覆い、肩を震わせながら話を聞いた。

（渡部真美子）

講演活動の様子
～山形新聞令和2年7月29日掲載記事より～



「こまくさ」は蔵王の山頂のお釜周辺に生息する高山植物です。ほかの植物が生育できない砂礫地帯にしっかりと根を張り、毎年可憐な花を咲かせます。自分自身、「こまくさ」のように生きたいと願い、会の名前としました。

センターの活動を支えてくださる皆様に感謝申し上げます

賛助会費及び寄付金として、財政的支援をしていただいた方を、謹んでご報告申し上げます。(平成31年4月1日から令和2年8月20日)

ご協力いただいた賛助会費・寄付金は、犯罪や事故に遭われた被害者等を支援する諸活動に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

なお、誤字、記載もれ等がございましたら、お手数ですが事務局までご一報いただきますようお願いいたします。また、今後、お名前の記載を望まれない方は、お申し出ください。



<賛助会員 個人> (敬称略)

會田庸二郎	伊藤 知雄	大森 典夫	菊地 武夫	寒江 孝男	菅原 和夫	長南 明重	原田 晁子	宮林 重夫
青柳 初夫	伊藤 宏	岡崎貴美代	菊池 紀久	笹原 清彦	菅原 博子	土屋 哲郎	原田 敦子	村岡 朋美
青柳 りえ	井上 敬三	小川 聡美	菊地 文子	佐藤 彰	鈴木 信幸	戸石 健二	原田イクミ	村越 友子
青山 明弘	井上 聡子	小川 るみ	岸井 宏樹	佐藤 攻	鈴木 文雄	徳宮 龍男	原田 伸也	森谷 裕一
青山 永策	井上 富雄	奥山歌代子	木村 豊生	佐藤 金悦	鈴木 政明	戸田 健志	樋口 芳次	諸橋 哲郎
青山 均	猪倉 貞夫	小座間一夫	楠 二男	佐藤ささゑ	鈴木 力夫	長岡 静子	日向 敏幸	八重樫勝昭
安達喜美子	今川 昌幸	押井 邦昭	工藤 英雄	佐藤 省三	鈴木 隆一	長岡 敏明	日野 晃彰	矢口 信哉
阿彦 忠之	今間信一郎	小田 悟志	倉岡 憲雄	佐藤 孝	清治ひさ子	長澤 忠	深瀬 邦彦	矢口 康子
阿部 和行	漆山 茂	尾田 滋	黒沼 範子	佐藤 大	清野 伸昭	中島 勲司	藤田 繁明	矢作 勝美
阿部 憲史	漆山 善則	小野 弘信	桑山 幸子	佐藤 誠	清野彦四郎	中島 信勝	札野 貴寛	矢萩 紘一
阿部ひとみ	遠藤 和彦	小野寺 惇	小泉 信三	佐藤 正志	瀬野 清	長瀬 純男	舟山 文雄	山川 孝
阿部 正希	遠藤 竹雄	小野寺 久	小関 和栄	佐藤美智雄	相馬 諭	長瀬 恒夫	星 美喜	山口登喜雄
阿部 昌子	遠藤 利馬	片桐 政隆	小林 邦憲	佐藤 泰夫	平 ふみゑ	成沢 一彦	堀田 いく	山田 登
天野 哲雄	遠藤 光正	加藤 秀一	小林 政弘	志金 敏夫	平 よね子	新野ふみ子	本間 等	横尾 昭男
五十嵐敏子	遠藤 吉寛	加藤 春雄	今 寅雄	信夫 鈴子	高木 信博	二戸 昭夫	本間 文夫	横尾 量助
五十嵐幸弘	及川 善大	嘉藤 泰之	近藤 寛治	柴田美恵子	高橋 京子	仁藤ミエ子	本間 衛	横山 礼子
石倉 隆	大川 隆雄	加藤 玲子	近藤 好司	澁谷 清	高橋 敬一	信田 信一	前森美代子	吉田美智子
石山 行雄	大久保義雄	金内 善治	今野 洋一	島貴 利春	高橋誠一郎	橋本 春喜	榎 敏男	若松 正俊
伊豆倉公子	太田 純子	金澤 和子	齋藤 榮一	白旗 伸一	高橋 尚子	羽角 巖	松尾あさ子	和田 英光
伊勢 和正	大竹 孝幸	金杉 浩	齋藤 和也	新宮奈奈子	武田 伸一	長谷川啓子	松尾 正城	渡辺 徳夫
井田 守男	大橋 長秋	金森繁三郎	斎藤順二郎	新林 正行	竹屋清三郎	長谷川 法	三浦 繁則	渡部 幸雄
板垣 恵子	大沼八右衛門	金森 義弘	斎藤善太郎	菅井 精	多田 俊磨	花見 彰	三浦 元	
板垣 隆	大御 均	鹿野 英雄	齋藤 浩暉	菅井日出男	田宮由美子	早坂 松一	三塚 勝男	
板垣 幸江	大宮多恵子	河内 昭佐	三枝 和也	須貝 光雄	田村 留勝	早坂 寛子	水戸 豊	
伊藤 俊夫	大宮 光也	菅野 雅博	酒井 博	菅野 健吉	丹野 健一	林 由美子	峯田 典明	

<寄付 個人> (敬称略)

阿部ひとみ	遠藤 凉一	黒澤 洋介	穴戸 義明	林 淑子	榎野 和男	村山恵美子
市川 信子	奥山 敬子	小山 敦子	新藤 重徳	原田 敦子	眞見 静子	森岡美貴子
井上 聡子	金杉 浩	小山 政弘	鈴木 幸子	平井 紀夫	三塚 勝男	結城奈々子
植村 久美	草苺 隆志	齋藤由美子	萩原さち子	藤田 正	宮崎 信三	吉田 敏雄

<寄付 法人・団体> (敬称略)

尾花沢地区安全運転管理者協議会	(税) 黒沼 共同会計事務所	東 根 市 役 所	山形 空港 ビル (株)
(株) とみひろ	鶴岡地区被害者支援ネットワーク	マツキドライビングスクール村山校	山形地区安全運転管理者協議会
(株) ぶどうの木	南陽高島地区交通安全事業主会	道の 駅 むらやま	
国際ソロプチミスト東根	南陽地区被害者支援連絡会	村山市 更生保護女性会	
庄内町被害者支援連絡協議会	東根市 更生保護女性会	村 山 市 役 所	

<寄付 設置募金箱> (市町村民からのご寄附)

大蔵村役場住民税務課	新庄市役所環境課	マックスバリュ青田	最上総合支庁総務課
金山町役場総務課	舟形町役場総務課	真室川町役場総務課	最上町役場町民税務課

<正会員 法人・団体> (敬称略)

(一社) 山形県銀行協会 (株)トヨタレンタリース山形 山形県商工会議所連合会
 (一社) 山形県経営者協会 山形 経 済 同 友 会 山形県商工会連合会
 (株) エフエム山形 山形県警友会連合会

＜賛助会員 法人・団体＞

(敬称略・五十音順)

【山形市】

(株)市村工務店
 (株)井出コンタクトレンズ
 (株)エム・エス・アイ
 遠藤商事(株)
 (株)クラフト
 (税)黒沼共同会計事務所
 (医)公德会若宮病院
 小白川建設(株)
 小松建設(株)
 (有)サガワデンキ
 (株)ジョインセモノーパレスグランドール
 新和産業(株)
 (株)セロン東北
 全国共済農業協同組合連合会山形県本部
 全国農業協同組合連合会山形県本部
 損害保険ジャパン日本興亜(株)
 (株)たいよう共済山形支店
 (弁)武田法律事務所
 (株)田村測量設計事務所
 (株)塚田会計事務所
 (株)でん六
 東京海上日動火災保険(株)
 東北医療機器(株)
 東北電力(株)山形支店
 ときわ商事(有)
 トヨタカロラー山形(株)
 (株)ナイガイ
 西河産業(株)
 (一社)日本自動車販売協会連合会山形県支部
 日本地下水開発(株)
 (医)二本松会山形さくら町病院
 (株)ハイテックシステム
 東日本電信電話(株)山形支店
 (株)ぶどうの木
 (株)ベガスベガス
 (株)本間利雄設計事務所
 (株)メコム
 山形いすゞ自動車(株)
 山形ガス(株)
 山形警備保障(株)
 (一社)山形県安全運転管理者協会
 (一社)山形県医師会
 (一財)山形県警察職員互助会
 山形県軽自動車協会

(一社)山形県自家用自動車協会
 (一社)山形県自動車整備振興会
 (株)山形県自動車販売リサイクルセンター
 山形建設(株)
 山形県農業協同組合中央会
 山形県ハイヤー協会
 山形県ハイヤー・タクシー協会
 山形県弁護士会
 山形県民共済生活協同組合
 山形県遊技業協同組合
 山形県立保健医療大学
 山形酸素(株)
 山形事務器販売(株)
 (株)山形新聞社
 山形信用金庫
 山形大学医師会
 山形ダイハツ販売(株)
 (株)山形テレビ
 山形農業協同組合
 山形パナソニック(株)
 (株)山形ビルサービス
 山形放送(株)
 ヤマケンビルテックサービス(株)
 (株)ヤマコ
 ゆうき整形外科
 (株)ワイム

【上山市】

羽陽建設(株)
 (一社)上山市医師会
 (宗)称念寺
 (医)二本松会かみのやま病院
 藤庄印刷(株)

【天童市】

エムテックスマツムラ(株)
 カクシメ運送(株)
 (株)滝の湯ホテル
 (医)丹心会吉岡病院
 (一社)天童市東村山郡医師会
 (医)斗南会秋野病院
 日新製薬(株)
 (一財)山形県交通安全協会

【寒河江市】

曙プレーキ山形製造(株)
 大富建設(株)
 國井建設(株)

(株)寒河江測量設計事務所
 角田商事(株)
 日東ベスト(株)
【東根市】
 (株)山本製作所
【河北町】
 上村石油(株)
 勝川建設(株)
 (医)つかさ会齊藤医院
 (株)トウショー
 升川建設(株)
【大江町】
 (有)藤島屋商店
【西川町】
 (有)玉貴
【村山市】
 小野内科胃腸科クリニック
 河西建設(株)
 (一社)北村山地区医師会
 (株)ヤマガタ共同
【尾花沢市】
 (有)徳宮商事
 (有)はながさバス
【新庄市】
 さいほく鉄工(株)
 (医)三條医院
 (一社)新庄市最上郡医師会
 (宗)善龍寺
 (医)若狭眼科
【酒田市】
 (医)池田内科医院
 (医)太田医院いちごレディースクリニック
 (有)齋藤組
 酒田塗装(株)
 (株)鳥海学園
 長島整形外科クリニック
 (株)平尾工務店
 (株)福祉のひろば
 前田製管(株)
 山田塗装(株)
【庄内町】
 関東自動車興業(株)
 (株)大商金山牧場
【鶴岡市】
 いでは診療所

(医)いとうクリニック
 (株)エル・サン
 (株)オランダ
 (株)佐藤組
 菅原建設(株)
 (医)すこやかレディースクリニック
 (株)タマツ
 (株)長南牛肉店
 (株)マルゴ
 (医)諸橋医院
【長井市】
 (医)杏山会吉川記念病院
 (医)仁陽会仁陽堂外田医院
 (福)長井弘徳会
 那須建設(株)
 山形中央信用組合
【南陽市】
 置賜ツバメ石油(株)
 (医)公德会佐藤病院
 (株)三和
 住友生命保険(相)南陽支部
 時計・宝石・メガネの太友
 (一社)南陽市東置賜郡医師会
 (株)武蔵屋
【高畠町】
 (株)高畠ワイナリー
 羽山総合建設(株)
 よねおりかんこうセンター
【米沢市】
 (株)エービーエム
 金子建設工業(株)
 (医)ささきクリニック
 (株)三友医療
 東北警備保障(株)
 (宗)普門院
 米沢合同運送(株)
 (一社)米沢市医師会
 (株)米住建設
【川西町】
 山形おきたま農業協同組合
【小国町】
 大和建設運輸(株)
 山和建設(株)

●山形県警察の各所属 職員一同様

総務企画課	生活安全企画課	鑑識課	警備第二課	尾花沢警察署
広報相談課	地域課	科学捜査研究所	機動隊	新庄警察署
留置管理課	通信指令課	機動捜査隊	警察学校	庄内警察署
会計課	人身安全少年課	交通企画課	山形県警察学校初任科生	酒田警察署
施設装備課	生活環境課	交通指導課	山形県情報通信部	鶴岡警察署
警務課	サイバー犯罪対策課	交通規制課	山形警察署	長井警察署
人材育成課	刑事企画課	運転免許課	上山警察署	小国警察署
監察課	捜査第一課	交通機動隊	天童警察署	南陽警察署
厚生課	捜査第二課	高速道路交通警察隊	寒河江警察署	米沢警察署
情報管理課	組織犯罪対策課	警備第一課	村山警察署	

小学生用リーフレットを作成中 ～べにサポ やまがた～



現在作成中のリーフレット

社会の性犯罪・性暴力への問題視・関心の高まりの声を受け、国では令和2年度から4年度までの3年間を、性犯罪・性暴力対策の「集中強化期間」として、被害者支援の充実や教育・啓発の強化に取り組むことを決定しました。とりわけ、子どもたちを被害当事者にしないため、小さいうちから安全教育をすることの重要性、必要性が求められています。そこで、山形県で唯一のワンストップセンターである「べにサポ やまがた」では、県内の小学生に配布すべく、啓発用リーフレットを作成しています。

性暴力とは何なのか。被害者、そして加害者、傍観者にならないための教育がより大きな役割を果たしていくこととなります。

昨年度は、県内の中学・高校生にリーフレットを作成・配布しました。

SNSの普及により、性暴力の被害は低年齢化しています。

被害にあわないことはもとより、もし被害にあってしまったときに相談できる場所があることを知ってもらうことが、支援につながる第一歩になります。子どもたちを支える周りの大人たち、教育関係者や保護者への啓発活動も必要です。お声掛けいただければ、教養、お話にうかがいますので、まずは事務局までご相談ください。



昨年作成したリーフレット

賛助会員への加入や各種ご支援・ご協力をお願いします

賛助会員会費

◎個人会員……………1口 **2,000円** 口数に制限はありません

◎法人・団体会員……1口 **10,000円** //

ご入会の方法……郵便振り込みか銀行口座へのご入金をご利用ください。
詳しくは当センター事務局(電話 023-642-3571)にお問い合わせください。

寄付金付き自動販売機の設置にご協力をお願いします



犯罪被害者支援の
パートナーになってください

◆ 編集後記 ◆

今年に入り、新型コロナウイルスの感染が全国に拡大し、当センターにおきましても、今春の定時総会や理事会はすべて「書面審議」となるなど、運営に少なからず影響は出ておりますが、被害者支援活動に支障が生じないよう感染防止策を講じながら各種活動を行っております。

本号には、「巻頭言」を阿部県警本部警務部理事官に、「被害者の声」を安部様に、「こまぐさの集い」の活動を渡邊様にご寄稿いただきました。犯罪被害者等が受けた心身の苦痛等は、筆舌に尽くしがたいものであることを肝に銘じ、今後とも途切れることのない支援活動を行ってまいります。

当センターの運営に多大なご支援をいただいている皆様、財政的に支えていただいている賛助会員、寄付者・団体の皆様に改めて感謝を申し上げます。引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

支援室長 太田 富雄

やまがた被害者支援センター だより 第29号

編集・発行

令和2年8月発行

山形県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 **やまがた被害者支援センター**

〒990-0031

山形市十日町一丁目6-6 山形県保健福祉センター内

TEL 023-642-3571 FAX 023-676-5630

(土・日・祝日・年末年始は休みとなります。)

ホームページアドレス <https://www.yvsc.jp>

